

みずほCustomer Desk Report 2022/04/15 号 (As of 2022/04/14)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	125.53
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	125.35	1.0898	136.52	1.3120	0.7453
SYD-NY High	126.02	1.0923	136.88	1.3147	0.7468
SYD-NY Low	125.10	1.0758	135.55	1.3034	0.7397
NY 5:00 PM	125.89	1.0829	136.38	1.3078	0.7418

NY DOW	34,451.23	▲ 113.36	日本2年債	-0.0700	0.00bp
NASDAQ	13,351.08	▲ 292.51	日本10年債	0.2300	▲1.00bp
S&P	4,392.59	▲ 54.00	米国2年債	2.4539	9.04bp
日経平均	27,172.00	328.51	米国5年債	2.7847	12.50bp
TOPIX	1,908.05	17.99	米国10年債	2.8265	12.50bp
シカゴ日経先物	26,950.00	▲ 30.00	独10年債	0.8360	6.25bp
ロンドンFT	7,616.38	35.58	英10年債	1.8870	8.45bp
DAX	14,163.85	87.41	豪10年債	2.9730	▲6.90bp
ハンセン指数	21,518.08	143.71	USDJPY 1M Vol	9.23	▲0.53%
上海総合	3,225.64	38.82	USDJPY 3M Vol	9.08	▲0.30%
NY金	1,974.90	▲ 9.80	USDJPY 6M Vol	8.95	▲0.28%
WTI	106.95	2.70	USDJPY 1M 25RR	0.23	Yen Put Over
CRB指数	311.924	3.73	EURJPY 3M Vol	9.73	▲0.28%
ドルインデックス	100.32	0.45	EURJPY 6M Vol	9.70	▲0.21%

東京	東京時間のドル円は125.35レベルでオープン。明日はイースター休暇によりNYやロンドンが休日となる中、ポジションクロス [※] の為の利益確定の売りもでるなど、上値重い展開となった。正午過ぎには若田部日銀副総裁が参院財政金融委員会にて足元の為替相場について「具体的なコメントを差し控えたい」と述べたこともあり、影響は限定的にとどまるとその後も方向感に欠き、125.41レベルでクロス [※] 。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、125.41レベルでオープン。イースター休暇前の欧州市場で、材料難の中、ドル円は方向感ない推移。125.33レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0915レベルでオープン。昼過ぎにECBが政策発表を行ったが、概ね予想通りの内容で効派サプライズ [※] はなし。1.0864に低下し1.0866レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は125円台半ばでスタート。米金利が伸び悩んでいたことやイースター休暇前で利益確定売りが進んだことから125.11まで下落し、125.33レベルでNYオープン。朝方は米3月小売売上高が予想を下回ったが、変動幅の大きい自動車を除くと予想を上回っていたほか、前回分が上方修正されており、米国内で消費の落ち込みが確認できなかったことが好感されたためか、ドル円は買いで反応し125.60近辺まで上昇。その後、ECB理事会を背景に強まったドル買いや、ウィリアムズNY連銀総裁の効派的発言等、米長期金利の上昇を受けて一時126.02まで上昇。買い一巡後、125.73まで反落。午後は午前中に下落していたクロス円が持ち直す中、円売り優勢となり、126円手前までじりじりと上昇。終盤は小動きとなり、結局、125.89レベルでクロス [※] 。一方、海外市場のユーロドルは1.0900近辺でスタートし、ECB理事会やラガルドECB総裁の記者会見を控えポジション調整の買いが進み、一時1.0923まで上昇。早朝にECB理事会の声明文で政策金利の据え置きやAPPの7-9月終了見通しが伝わり、特設サプライズ [※] は見当たらなかったが、売りで反応し、1.0866レベルでNYオープン。朝方はラガルドECB総裁の記者会見ではインフレの上振れリスクが増したと述べる一方、利上げ時期はAPP終了してから数か月後になる可能性もあることを示唆したことから、ECB早期利上げ観測が後退。結果、ユーロ売りが加速し、2020年5月以来の1.0800割れとなり、一時1.0758まで下落。売り一巡後、じりじりと買い戻され、また関係者の話として「7-9月の25bp利上げにECB政策委員会内での支持が強まる」との報道もありまって1.08台前半まで回復。午後は1.0830近辺で方向感無く推移し、1.0829レベルでクロス [※] 。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなすようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製するのを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：松木・大谷

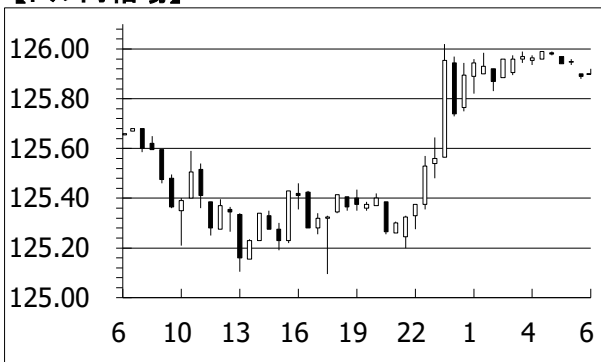
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月14日	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	3月 17.9k/4.0%	30.0k/3.9%
	20:45	欧 ECB主要政策金利	14-Apr 0.0%	0.0%
	20:45	欧 ECB預金ファンリィ・レート	14-Apr -0.5%	-0.5%
	21:30	欧 ラガルドECB総裁 記者会見	「インフレ見通しが上振れするリスクは短期中心に増した」	
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	3月 0.5%	0.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 185k	170k
	21:45	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	「0.5ポイントの利上げは妥当な選択」	
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	4月 65.7	59.0
4月15日	04:50	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	「FRBはインフレ抑制のため景気支援策解除へ」	

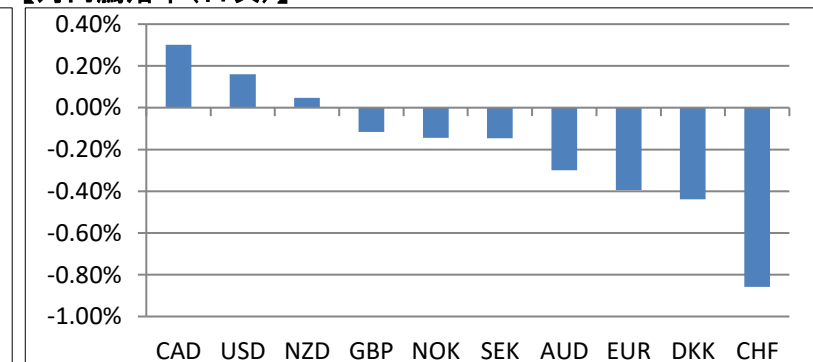
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
4月15日	21:30	米	NY連銀製造業景気指数	4月	1.0	-11.8
	22:15	米	鉱工業生産(前月比)	3月	0.4%	0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	125.40-126.30	1.080-1.095	135.90-136.90

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は欧米勢の休日を控え、ポジションクローズの為の利益確定の売りも出るなど上値重い展開となり125円半ばで海外時間に渡った。海外時間に入り、ECB政策発表やラガルド総裁発言にサプライズがなく、ECB早期利上げ観測が後退するややハト派な内容になったことを受けてEURが売られ、米3月小売売上高が堅調な結果となったことや米債利回りの急伸を受けたドル買いからドル円は126.02まで上昇し、結局125.89レベルでクローズ。本日は126円を挟んでのレンジでの推移になると予想する。

欧米がイースターによる休暇となる中、ドル円は材料難の状態。米金利が高止まりしており底値は堅いが、126円台では利益確定の売りも出やすいので結局はレンジ相場になると予想する。